

1 文学・地理・歴史 ▶ P15

2 国際・観光 ▶ P16

3 公務員・法律・政治 ▶ P17

4 経済・経営・ビジネス ▶ P18

5 人間・心理 ▶ P19

6 子ども・教育 ▶ P20

7 料理・お菓子・栄養 ▶ P21

8 建築・インテリア ▶ P22

9 マスコミ・音楽・アニメ ▶ P23

10 アート・デザイン・イラスト ▶ P24

11 美容・メイク・ファッション ▶ P25

12 医療・薬・リハビリ ▶ P26

13 福祉・スポーツ ▶ P27

14 IT・コンピュータ・ゲーム ▶ P28

15 機械・電子・電気 ▶ P29

16 動植物・地球・環境 ▶ P30

17 数学・物理・化学 ▶ P31

INDEX

高校生の価値意識

希望分野別分析

高校生のライフデザイン・キャリア観・進学観などを、希望分野別にまとめました。

1 文学・地理・歴史



明確な将来ビジョンは持たず、
進学先で可能性を広げたい

※N=194、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	楽しさ	[37.5%]
2位	自分らしさ	[36.4%]
3位	やりがい	[36.3%]
4位	居心地の良さ	[35.3%]
5位	自由	[31.1%]
6位	自由な	[30.5%]

キャリア観

チームワークより
自分らしさを大切に

「あまり人と関わらずに働ける仕事がしたい(+2.5)」 「自分の名前が残るような仕事がしたい(+1.7)」が全体より高く、「身近な人の役にたつ仕事がしたい(-7.3)」 「将来は手に職をつけて仕事をしたい(-5.2)」が低い。チームワークを重視するというよりは、自分らしさを生かして、なにか自分の功績となるような結果を望んでいる。

ライフデザイン

長期的なキャリアデザインや
イメージをもたない

「これからの人生で何を目標とすべきかわからない(+4.9)」 「これから先の人生のことはほとんど予想ができない(+1.3)」が全体より高く、「これからの人生について自分なりの見通しを持っている(-6.9)」が低い。分野の将来のイメージも「就職が厳しい」「大学で勉強した内容は生かすことは出来無そう」という声が。

進学観

将来のことは進学後。
偏差値の高い大学へ

「将来の事は進学してから考えたい(+4.1)」 「大学に進学するなら偏差値の高い大学に行ったほうが良い(+3.1)」が全体より高く、「進学したらみっちり勉強・研究したい(-5.3)」 「全く努力しなくても入れそうな学校に入りたい(-4.5)」が低い。学ぶ内容や将来のことは進学後に考えるが、とりあえず大学の偏差値は重要なので努力したい。

価値観

何かに挑戦しよう、
頑張ろうという意欲は低い

「他人と競争するのは嫌いだ(+1.6)」 「自分で考えてやるよりも人の指示等に沿ってやる方が良い(+0.1)」が全体より高く、「新しいことにチャレンジしたいと思う(-6.5)」 「今、自分には頑張っていることがある(-6.5)」が低い。何かに挑戦しよう、頑張ろうという上昇意欲は低めで、人と競争せずに居心地の良い関係を築いていきたい。

受けたい授業スタイル

グローバル・学外学習に興味。
参加型授業はNG

「海外研修や留学できる機会がある(+3.6)」 「グローバル化や国際社会・異文化について学べる(+2.0)」 「フィールドワークやプロジェクト型学習など学外で学ぶ機会がある(+3.0)」が全体より高く、「実習、グループ学習やディスカッションなどの参加型授業がある(-12.0)」 「授業や実習が多少厳しくてもかまわない(-8.2)」が低い。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

▲上がった経験 落ち着いたて学べそうな環境と、キャリアイメージ

「パンフレットを読んで感じた通り、落ち着いたて勉強に集中できそうな環境」「学習プログラムが詳しく書かれていたこと」など、学ぶための環境と、「キャリアを積んで行くことができることがわかったこと」「就職内訳が事細かに書いてあり、必要な資格等が併記されていたこと」など、卒業後の就職やキャリアイメージが明確化されていることが挙がった。

▼下がった経験 不真面目、ちゃらちゃらした学生

「大学生が不真面目」「髪染めの人が多い」「オープンキャンパス校の学生がとてもうるさかった」「実習で学生達が馴れ合って進まない」「学生のちゃらさ」など、不真面目な学生やその雰囲気が自分のイメージと合わないという声。上がった経験同様、在校生などの構成員も学ぶための環境として期待する傾向。

タイプ別構成比

1位	自分探しタイプ	[28.4%]
2位	プロ突進タイプ	[20.4%]
3位	未成熟タイプ	[15.1%]
4位	おっとりタイプ	[10.3%]
5位	好きエンジョイタイプ	[9.6%]
6位	ブランド重視タイプ	[9.2%]

全体と比較して「自分探しタイプ」が多く、シェアもトップとなっている(+6.9)。「自分探し」がもつ将来イメージについては、進学後に学んだことを生かせる分野を考えたいので、今は「わからない」「考えたことがない」という声が出るが、2位の「プロ突進タイプ」は、「教員」「作家」「芸員」「図書館の司書」など明確な職業をあげている高校生が多い。

2 国際・観光



夢や目標が明確。
自分の意志と努力で、誇れる仕事に就きたい

※N＝242、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	国際的な	[42.8%]
2位	やりがい	[40.8%]
3位	自分らしさ	[39.4%]
3位	楽しさ	[39.4%]
5位	居心地の良さ	[38.8%]
6位	グローバル	[33.6%]

キャリア観

人とかわかり、自慢できる
仕事に。リーダー志向も

「国際的に活躍できる仕事がしたい(+30.9)」
「他人に自慢できる・尊敬される仕事がしたい(+7.4)」
「自分がリーダーになって人を統率できる仕事がしたい(+7.3)」が全体より高く、
「あまり人と関わらずに働ける仕事がしたい(－4.1)」
「プレッシャーや責任がなく、楽に働ける仕事がしたい(－3.9)」が低い。人と関わりながら、多少難しい仕事でも挑戦したい。

ライフデザイン

夢や目標を持つことを重視、
上昇志向も高い

「将来はお金持ちになりたい(+9.0)」
「自分の夢を見つけて実現していくのが良い生き方だと思う(+8.6)」
「これからの人生で取り組んでみたいことがいくつかある(+8.0)」が全体より高く、
「あまり高望みせずそこそこの楽しい生活を送りたい(－8.8)」が低い。分野の将来イメージも「世界的に活躍できる」「需要が高い」「給料が高い」などプラスイメージ。

進学観

努力して学力の高い学校に
挑戦したい。地元志向低め

「学力的に頑張らなくてはいけない学校でも、挑戦したい(+10.0)」
「将来の事は進学してから考えたい(+8.0)」が全体より高く、
「全く努力しなくても入れそうな学校に入りたい(－6.1)」
「進学する学校は地元の学校がよい(－4.9)」が低い。進学後に自分の可能性を広げたいが、進学先については努力して学力の高い学校に入学したいと考えている。

価値観

自分の意志を大切に。
挑戦・努力への意欲も高い

「自分をアピールすることはとても大事だ(+8.1)」
「新しいことにチャレンジしたいと思う(+6.4)」
「頑張ればいつか報われると思う(+6.4)」が全体より高く、
「自分の意志よりも、流行や周囲の意見に左右されやすい方だ(－5.3)」
「何かを決めるときは検討を慎重にして失敗を避けたい(－3.1)」が低い。自分の思いを大切にしながら努力してチャレンジする意向が。

受けたい授業スタイル

海外研修や留学、
フィールドワークにも興味

「海外研修や留学できる機会がある(+29.8)」
「グローバル化や国際社会・異文化について学べる(+26.5)」
「フィールドワークやプロジェクト型学習など学外で学ぶ機会がある(+12.5)」
「企業がインターンシップができる制度がある(+10.9)」が全体より高く、
「座学が多い(－1.1)」が低い。一方的な講義よりも学内を飛び出して経験で学べる機会を求めている。

3 公務員・法律・政治



ステイタスとなるいい会社や大学に入り、
長期的な安定・保証を求める

※N＝175、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	安定	[35.0%]
2位	居心地の良さ	[32.5%]
3位	就職	[31.3%]
4位	やりがい	[30.3%]
5位	社会で役立つ	[29.1%]
6位	楽しさ	[26.9%]

キャリア観

大企業・正社員志向。
趣味や夢・自己成長は低い

「派遣社員や契約社員ではなく、正社員で働きたい(+10.6)」
「将来はなるべく大企業や有名な企業に入りたい(+7.4)」が全体より高く、
「自分の夢をかなえることができる仕事につきたい(－6.7)」
「自分の趣味や好きなことができる仕事につきたい(－5.8)」
「自分が成長できる仕事がしたい(－3.8)」が低い。夢や趣味といった自分軸より他人軸を重視。

ライフデザイン

いい大学や会社を重視。
具体的な目標や仕事は不明確

「将来は会社の中でえらくなりたい(+11.1)」
「いい大学やいい会社に入れば将来は安泰だと思う(+8.7)」
「これからの人生で何を目標とすべきかわからない(+4.3)」が全体より高く、
「自分が望む生き方をするために、具体的な計画を立てている(－8.0)」
「将来就きたい仕事がある(－7.9)」が低い。いい会社や大学といったステイタスが安定につながると考える傾向。

進学観

偏差値の高い大学に行って
将来のことは進学後

「大学に進学するなら偏差値の高い大学に行ったほうが良い(+15.3)」
「将来の事は進学してから考えたい(+10.5)」
「進学する学校は地元の学校がよい(+5.2)」が全体より高く、
「自分のやりたい事や夢があれば学歴は関係ない(－6.3)」
「進学先では学生生活を楽しみたい(－5.8)」が低い。やりたいことや夢よりも偏差値や学歴が重要だと考える。

価値観

自分の意志よりも他者に
リコメンドされたい

「自分の意志よりも、流行や周囲の意見に左右されやすい方だ(+4.7)」
「自分で調べたりするより信頼できる人におすすめされたい(+3.5)」が全体より高く、
「今が楽しければそれが一番だと思う(－4.6)」
「先のことを考えるより今を充実させたい(－4.1)」が低い。他者におすすめされた情報から意思決定したいと考えており、利他的ではなく長期的に考える。

受けたい授業スタイル

座学を好む傾向。
社会人と接する機会や留学も

「座学が多い(+10.8)」
「社会人や職業人と接する機会がある(+4.4)」
「海外研修や留学できる機会がある(+4.3)」が全体より高く、
「補習やフォローがしっかりしている(－5.2)」が低い。就職後に活かされる社会人と接する機会や留学経験も大切だが、基本的には座学でよいと考えるのが大きな特徴。分野で学ぶ内容のイメージも「暗記が多そう」「ひたすら勉強」が多い。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

▲上がった経験 留学制度やネティブの先生など、国際的な体験

「キャンパスに外国人がたくさんいて楽しそうだとおもった」「留学が楽しそうで良いなと思った」「ネティブの先生がいる」「オープンキャンパスで話した外国人教諭の方が話しやすくて楽しそうだった」「日本語を学ぼうとしている外国人とペアを作る試みが楽しそうだった」など、留学制度や国際感覚に触れる機会に好感度が上がる様子。

▼下がった経験 一方的なコミュニケーション

「広い講義室で先生が一方的に授業を進めていて、生徒の意見を聞いたりディスカッションをしたりすることがいっさいなかった」「教員の人が話しすぎて聞きたいことが聞けなかった」「体験授業がわかりにくつまらなかった」。双方向コミュニケーションを好む彼らは、一方的な講義や座学ではなく、自分や仲間の意志を発信しながら進める形が好ましい。

タイプ別構成比

1位	プロ突進タイプ	[30.3%]
2位	自分探しタイプ	[17.8%]
3位	ブランド重視タイプ	[12.8%]
4位	学者タイプ	[12.7%]
5位	おっとりタイプ	[10.2%]
6位	未成熟タイプ	[8.8%]

全体と比較して「プロ突進」が多く、シェアもトップとなっている(+5.1)。「プロ突進」がもつ将来イメージは、「外資系や国際機関に勤めたい」「世界を相手にビジネスができそう」「今話題のグローバルな仕事で需要がありそう」など、国内にとどまらない今後の成長性も期待する傾向。一方、2位の「自分探し」は、「一部の人しかその分野に関する仕事につくことができない」「大変そう」などの意見が。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

▲上がった経験 それぞれの学校にしかない特徴的なカリキュラム

「それぞれの学校にしかない特色のある授業を見たとき」「ゼミの多彩なところ」「その学校の独特な部分があったこと」「面白い学部が見つかった」「県内で初の学科という言葉」など、オリジナリティの高い教育カリキュラムに惹かれる傾向。「留学に熱心なこと」など、国際的な経験ができる機会があることも評価。

▼下がった経験 キャンパス・施設の充実度から学生まで総合的に判断

「オープンキャンパスで施設が汚くてがっかりした」「校舎が暗い」「立地条件が悪い」「田舎にある」など、キャンパスや立地といった条件の悪さから、「オープンキャンパスで学生が暗そうだったとき」「学生のユーモアのなさ」「合格した人は皆、出身高校がとって頭のよい所ばかり」など、在校生への違和感まで多種多様。

タイプ別構成比

1位	自分探しタイプ	[27.4%]
2位	プロ突進タイプ	[25.8%]
3位	ブランド重視タイプ	[16.2%]
4位	未成熟タイプ	[12.2%]
5位	おっとりタイプ	[9.6%]
6位	学者タイプ	[7.9%]

全体と比較して「自分探し」(+5.9)「ブランド重視」(+4.7)が多い。「自分探し」がもつ将来イメージは、「つぶしがきく」「公務員」など、安定のイメージが高い。一方、2位の「プロ突進」は、「国家公務員、弁護士、外交官」「金持ちになれそう」「社会的に活躍できそう」と、専門的な職種について地位も収入も保証されるという意見が多い。

4 経済・経営・ビジネス



夢を追うより安定志向。
他人の意見に左右されやすい

※N＝234、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	居心地の良さ	[30.2%]
2位	安定	[28.7%]
3位	評判が良い	[28.2%]
4位	就職	[27.9%]
5位	社会で役立つ	[26.8%]
6位	自由な	[26.7%]

キャリア観

手に職よりも会社員。
夢を追うより安定志向

「会社員として働きたい(+12.0)」「公務員として働きたい(+9.6)」「収入が高い仕事をしたい(+7.6)」「派遣社員や契約社員ではなく、正社員で働きたい(+4.8)」が全体より高く、「自分の夢をかなえることができる仕事につきたい(-12.2)」「将来は手に職をつけて仕事をしたい(-12.1)」が低い。夢を追うよりも安定した会社員や公務員を希望。

ライフデザイン

将来の目標や
就きたい仕事は曖昧

「これからの人生で何を目標とすべきかわからない(+5.6)」「これから先の人生のことはほとんど予想ができない(+5.3)」「将来は会社の中でえらくなりたい(+3.4)」が全体より高く、「将来就きたい仕事がある(-17.9)」「今後どんな人生を送っていきたいのか目標をもっている(-10.6)」「これからの人生で取り組んでみたいことがいくつかある(-9.9)」が低い。

進学観

将来のことは進学後。
学歴も重視

「将来の事は進学してから考えたい(+14.2)」「大学に進学するなら偏差値の高い大学に行ったほうが良い(+5.1)」「進学する学校は地元の学校がよい(+4.2)」が全体より高く、「進学したらみっちり勉強・研究したい(-8.6)」「自分のやりたい事や夢があれば学歴は関係ない(-6.4)」が低い。将来イメージがあまりいまいなので入学後に考えたい。

価値観

自分の意志よりも
他人の意見で意思決定

「自分で調べたりするより信頼できる人におすすめされたい(+7.2)」「自分で考えてやるよりも人の指示等に沿ってやる方が良い(+4.6)」「自分の意志よりも、流行や周囲の意見に左右されやすい方だ(+3.4)」が全体より高く、「夢をもつことは大切だと思う(-3.6)」が低い。自分の夢や意思を持つよりも、他人の意見を参考にしたいという傾向。

受けたい授業スタイル

グローバル化や
異文化理解の授業にも興味

「座学が多い(+2.1)」「グローバル化や国際社会・異文化について学べる(+2.1)」「海外研修や留学できる機会がある(+1.0)」「分野や業界で有名な先生に学べる(+1.0)」が全体より高く、「補習やフォローがしっかりしている(-9.1)」「授業や実習が多少厳しくてもかまわない(-8.8)」「先生と生徒の距離が近い(-7.0)」が低い。

タイプ別構成比

1位	自分探しタイプ	[26.4%]
2位	プロ突進タイプ	[21.4%]
3位	ブランド重視タイプ	[16.3%]
4位	未成熟タイプ	[15.8%]
5位	学者タイプ	[8.2%]
6位	おっとりタイプ	[6.2%]

全体と比較して「自分探しタイプ」(+4.9)「ブランド重視タイプ」(+4.8)が高い。「自分探し」がもつ将来イメージについては、「つぶしのきく分野」「流通業、サービス業など様々な方面で活躍できそう」「安定していそう」など、「プロ突進」は「起業できそう」「英語ができれば国際的にも活躍できる」など独立なども視野に入れている。

5 人間・心理



地位や収入より社会貢献。
人の役に立ち感謝されたい

※N＝185、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	楽しさ	[44.8%]
2位	居心地の良さ	[42.5%]
3位	自分らしさ	[42.1%]
4位	自由な	[41.5%]
5位	親しみやすい	[41.0%]
6位	やりがい	[37.2%]

キャリア観

自分や家族との時間を大事に
しながら社会貢献したい

「自分の趣味や自由な時間も大事にしながら働きたい(+11.2)」「家族との時間も大事にしながら働きたい(+8.2)」「社会貢献ができる仕事をしたい(+6.8)」が全体より高く、「将来はなるべく大企業や有名な企業に入りたい(-9.8)」「会社員として働きたい(-7.3)」が低い。大企業でバリバリやるよりも、プライベートを大事にしながら社会貢献していきたい。

ライフデザイン

収入や地位よりも
人の役に立ち、感謝されたい

「誰かの役に立てる生き方をしたい(+10.1)」「頑張ってお金を稼ぐより、平凡でも安定した生活を送りたい(+8.1)」「お金を稼ぐより他人から尊敬・感謝される大人になりたい(+7.4)」が全体より高く、「将来は会社の中でえらくなりたい(-10.4)」が低い。お金や地位よりも人の役に立つことで感謝されたいという貢献志向が高い。

進学観

将来のことは進学後。
学生生活を楽しみたい

「将来の事は進学してから考えたい(+5.2)」「進学先では学生生活を楽しみたい(+5.1)」「自分のやりたい事や夢があれば学歴は関係ない(+4.1)」が全体より高く、「全く努力しなくても入れそうな学校に入りたい(-6.8)」が低い。卒業後の具体的な進路については進学後に考え、キャンパスライフも楽しみたいという意向。自分の夢を重視するが、努力もするという考え。

価値観

対人関係重視。挑戦意向も
あるが、自己肯定感が低い

「対面での会話は、LINEやメールより気持ちが伝わる(+7.7)」「新しいことにチャレンジしたいと思う(+4.1)」「自分をアピールすることはとても大事だ(+4.0)」が全体より高く、「自分は人から必要とされている(-8.8)」「今の自分が好きだ(-5.6)」が低い。直接的な対人関係も重視し、チャレンジ意向もある一方で、自己肯定感が低い。

受けたい授業スタイル

座学中心で補習や
フォローの充実度を重視

「補習やフォローがしっかりしている(+9.0)」「座学が多い(+7.6)」「受ける授業を、興味に合わせて自由に選べる(+6.9)」「分野や業界で有名な先生に学べる(+5.1)」が全体より高く、「あらかじめ受ける授業が決められている(-2.9)」が低い。座学中心に、補習やフォローを受けながらしっかりマイペースに学びたいという意欲が強い。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

▲上がった経験 在校生や教授のフレンドリーな対応

「オープンキャンパスのサポートに生徒が多く出席している」「一休一で現役の学生と話せたこと」「教授や学生が話しかけてくださって、褒めてくれた」「自然が多く、在校生のみなさんが仲良さそうで優しい」など在校生や教授への親近感から「サークルが多い」といえると思う」というキャンパスライフへの期待など。

▼下がった経験 学校側からの一方的なコミュニケーション

ほかの分野と比較して「特にない」が多いものの、「一方的に、ここがいい、ここがおすすめだと宣伝されること」「あまりにもゴリ押し過ぎ」「良いことしか書いていない」「ダイレクトメールの断りかたが記載されていない」など、学校側の一方的なコミュニケーションに対して好感度が下がるよう。

タイプ別構成比

1位	自分探しタイプ	[25.1%]
2位	プロ突進タイプ	[21.4%]
3位	おっとりタイプ	[16.6%]
4位	好きエンジョイタイプ	[10.2%]
5位	ブランド重視タイプ	[9.6%]
6位	未成熟タイプ	[9.3%]

全体と比較して「自分探し」(+3.6)「おっとり」(+6.1)が多い。「自分探し」「プロ突進」が持つ将来イメージで一番多いのは「カウンセラー」「臨床心理士」という具体的な職業名。一方、「おっとり」では、「人を支えられてとても素敵な仕事」「人の悩みを聞く、アドバイスする」「人のデリケートな部分に触れるので若干気が滅入るそう」などというイメージ。

6 子ども・教育



人に感謝され、一度やめても
復職できるようなキャリアを積みたい

※N=124、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	楽しさ	[42.8%]
2位	やりがい	[41.9%]
3位	親しみやすい	[35.4%]
4位	自分らしさ	[35.2%]
5位	居心地の良さ	[34.2%]
6位	仲が良い	[33.5%]

キャリア観

安定した資格をとり、一度
やめても復職できる仕事を希望

「一度やめても、復職できるような仕事があった(+18.1)」「公務員として働きたい(+17.5)」「社会貢献ができる仕事があった(+15.8)」「資格が活かせる仕事があった(+14.2)」が全体より高く、「将来はなるべく大企業や有名な企業に入りたい(-16.8)」が低い。女子の希望が多いこともあり、教員免許などの資格を取得して、結婚・出産しても仕事を続けたいという意向。

ライフデザイン

収入や地位よりも
人の役に立ち、感謝されたい

「誰かの役に立てる生き方をしたい(+18.3)」「お金を稼ぐより他人から尊敬・感謝される大人になりたい(+16.4)」「将来こうなりたいと目指している人がいる(+13.7)」「友人はずっと大切にしていきたいと思う(+12.9)」が全体より高く、「将来は会社の中でえらくなりたい(-10.3)」が低い。「人間・心理」希望者同様他者貢献への意識が強い。

進学観

仕事に役立つ知識・技術を
身につけて資格取得

「進学先では資格を取りたい(+10.3)」「進学先では勉強以外のことを幅広く学びたい(+7.2)」「進学先では仕事に役立つ知識・技術を身につけたい(+5.8)」が全体より高く、「将来の事は進学してから考えたい(-8.8)」が低い。将来の明確なビジョンを持ち、そこに役立つ知識や技術を獲得して資格取得を目指す、勉強以外も幅広く学びたい。

価値観

今やれることをコツコツ
努力する頑張り屋さん

「今コツコツ頑張れば将来成功する確率が高くなる(+8.0)」「今しかやれないことに全力を尽くすべきだ(+6.9)」「頑張ればいつか報われると思う(+6.7)」が全体より高く、「自分の意志よりも、流行や周囲の意見に左右されやすい方だ(-8.9)」が低い。今の努力が将来につながると、自分の意志を信じてコツコツ頑張っていく傾向。

受けたい授業スタイル

アットホームな環境での
参加型授業

「実習、グループ学習やディスカッションなどの参加型授業がある(+11.8)」「フィールドワークやプロジェクト型学習など学外で学ぶ機会がある(+9.9)」「先生と生徒の距離が近い(+9.5)」「授業が少人数で行われる(+7.7)」が全体より高い。座学よりも学内外で行うアクティブラーニング的な活動を好み、先生や生徒同士の距離が近いアットホームな環境で学びたい。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

▲上がった経験 一生懸命で生徒のことをしっかり考えてくれる先生

「生徒のことをしっかり考えてくれそうな先生が沢山いた」「入学していないけれどその学校の生徒のように接してくれた」「優しい先生に声をかけられた」「先生が一生懸命」など先生に関する印象が高い。また同様に、「先生と生徒の距離の近さ」を指摘する声もあり、アットホームに学べる環境を重視。

▼下がった経験 一方的であり熱心ではない先生

好感度が上がった経験と同様、「教員の質」「先生の印象」「先生があまり熱心ではない」「教員の話が無駄話であったこと」「先生が話してばかりだった」「教員が職業の幅を限定した言い方をしたこと」など、先生の熱意が感じられない、コミュニケーションの機会がないことに残念だと感じている。

タイプ別構成比

1位	プロ突進タイプ	[26.3%]
2位	おっとりタイプ	[21.8%]
3位	自分探しタイプ	[18.5%]
4位	好きエンジョイタイプ	[11.0%]
5位	ブランド重視タイプ	[9.4%]
6位	未成熟タイプ	[9.0%]

全体と比較して「プロ突進」(+1.1)「おっとり」(+11.3)が多い。「プロ突進」が持つ将来イメージは「国家資格が取れる」「教師」「保育士」などの具体的な職業。「おっとり」は「子どもが好きなので楽しんでできそう」「子どもと触れ合えて楽しそう」「寿退社をする人が多そう」など、子どもが好きという気持ちの延長線上に仕事があるといった考え。

7 料理・お菓子・栄養



目指す仕事が明確。
学生生活も楽しみながら資格取得を目指したい

※N=121、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	楽しさ	[46.7%]
2位	資格	[46.0%]
3位	やりがい	[44.2%]
4位	自分らしさ	[41.6%]
5位	居心地の良さ	[38.7%]
6位	就職	[31.8%]

キャリア観

プライベートを大切に。
資格を取り復職したい

「一度やめても、復職できるような仕事があった(+10.5)」「自分の趣味や自由な時間も大事にしながら働きたい(+8.1)」「身近な人の役にたつ仕事があった(+8.0)」「資格が活かせる仕事があった(+6.8)」が全体より高く「将来はなるべく大企業や有名な企業に入りたい(-11.5)」が低い。資格を生かしてプライベートを大切にしながら働きたい。

ライフデザイン

誰かの役に立ちたい、
将来の仕事イメージは明確

「誰かの役に立てる生き方をしたい(+10.7)」「将来就きたい仕事がある(+8.7)」「あまり高望みせずそこそこの楽しい生活を送りたい(+7.1)」が全体より高く、「将来は会社の中でえらくなりたい(-13.2)」「いい大学やいい会社に入れば将来は安泰だと思う(-9.6)」が低い。就きたい仕事で明確で、誰かの役に立ちたいという思いが強く、会社帰属に興味が無い。

進学観

仕事に直結する資格を身につけ、
学生生活も楽しみたい

「進学先では資格を取りたい(+11.2)」「進学先では学生生活を楽しみたい(+6.3)」「進学先では仕事に役立つ知識・技術を身につけたい(+4.1)」が全体より高く、「大学に進学するなら偏差値の高い大学に行ったほうが良い(-16.2)」「将来の事は進学してから考えたい(-6.2)」が低い。将来イメージは明確なので卒業後を見据えた資格取得を重視。

価値観

夢に向かって努力し、
新しいことにも挑戦したい

「頑張ればいつか報われると思う(+3.6)」「新しいことにチャレンジしたいと思う(+3.0)」「夢をもつことは大切だと思う(+2.6)」が全体より高く、「自分は人から必要とされている(-10.4)」が低い。将来イメージが明確なので、夢に向かって新しいことにも挑戦し、頑張るという前向きな思考が強いが、一方で自己肯定感は低い。

受けたい授業スタイル

外部の地域や企業との
コラボレーション授業

「実習、グループ学習やディスカッションなどの参加型授業がある(+7.9)」「授業が少人数で行われる(+7.2)」「地域や企業とコラボレーションして学べる(+5.0)」「企業でインターシップができる制度がある(+4.3)」が全体より高い。先生の目が届く参加型の少人数授業を好むが、卒業後の実践力につながるような外部の企業とのつながりを重視するのも特徴。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

▲上がった経験 先生と在校生の距離が近く、アットホーム

「生徒と先生の仲がよさそう」「マンツーマン指導をしてくれるところ」「パンフレットや在学生の話から、先生と在学生の距離が近いと感じたこと」「オープンキャンパスで先生と実際に会話ができてとても親身に相談にのってくれた」「アットホームな雰囲気」など、先生と在校生の距離が近く、親身になって教えてもらえる雰囲気。

▼下がった経験 校舎の清潔感や雰囲気

他タイプと比較すると「特にない」という意見が多数を占めたが、その中でも挙がったのは「校舎が古い」「調理をするところなのに掃除が行き届いてなくて不衛生だと感じた」という校舎の雰囲気についての印象。また、「調理の専門学校の文化祭に行った時、味があまりおいしくなかった」などの意見も。

タイプ別構成比

1位	プロ突進タイプ	[29.6%]
2位	自分探しタイプ	[20.7%]
3位	おっとりタイプ	[18.2%]
4位	未成熟タイプ	[9.6%]
5位	好きエンジョイタイプ	[7.6%]
6位	ブランド重視タイプ	[6.7%]

全体と比較して「プロ突進」(+4.4)「おっとり」(+7.7)が多い。「プロ突進」が持つ将来イメージは「食品の企業に就職したいので、栄養士の資格が取れば手に職がつけられる」など将来のイメージが明確化。一方「おっとり」は「実習で大好きなお菓子をたくさん作りたい」「いい奥さんになれそう」など、好きの延長上から考えている。

8 建築・インテリア



技術や資格を身につけ、
有名企業に入って高い収入を得たい

※N＝59、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	安定	[47.7%]
2位	やりがい	[37.5%]
3位	資格	[37.1%]
4位	居心地の良さ	[36.7%]
5位	楽しさ	[36.1%]
6位	技術	[33.5%]

キャリア観

有名企業に入り、
高い収入を得たい

「収入が高い仕事がしたい(+19.7)」「派遣社員や契約社員ではなく、正社員で働きたい(+19.7)」「あまり人と関わらずに働ける仕事がしたい(+18.2)」「将来はなるべく大企業や有名な企業に入りたい(+18.1)」が全体より高い。あまり先のことが固まっていない分、収入や雇用形態が安定している有名企業に入りたいという考え。

ライフデザイン

ステイタスのあるいい学校や
企業に入りたい

「いい大学やいい会社に入れば将来は安泰だと思う(+22.3)」「これから先の人生のことはほとんど予想ができない(+19.7)」「できるだけ早く経済的に自立したい(+19.5)」が全体より高く、「今後どんな人生を送っていかたいのか目標をもっている(－1.0)」が低い。明確な将来イメージはないが、ステイタスのある学校や会社に入りたいと考えている。

進学観

将来のことは進学後。
学力が高い学校にも挑戦したい

「将来の事は進学してから考えたい(+18.9)」「学力的に頑張らなくてはいけない学校でも、挑戦したい(+10.9)」「進学先では勉強以外のことを幅広く学びたい(+10.8)」が全体より高く、「何を学ぶかは大事だが、どの学校で学ぶかは関係ない(－9.3)」「自分のやりたい事や夢があれば学歴は関係ない(－2.7)」が低い。学歴にもこだわりのぞく。

価値観

将来のことを考えるよりは
今を頑張る

「今しかやれないことに全力を尽くすべきだ(+14.8)」「今コツコツ頑張れば将来成功する確率が高くなる(+8.3)」「夢をもつことは大切だと思う(+7.8)」が全体より高く、「他人と競争するのは嫌いだ(－5.7)」「自分一人が前に出るより、仲間との協調性を重視したい(－2.4)」が低い。あまり先のことを考えるのではなく、今を頑張る。

受けたい授業スタイル

フィールドワークなど
学外での経験を重視

「フィールドワークやプロジェクト型学習など学外で学ぶ機会がある(+18.6)」「地域や企業とコラボレーションして学べる(+17.9)」「実習、グループ学習やディスカッションなどの参加型授業がある(+13.2)」「企業でインターンシップができる制度がある(+13.2)」が全体より高い。座学よりも、参加型授業で、積極的に地域や企業などの学外で学ぶことを好む。

9 マスコミ・音楽・アニメ



夢に向かい一直線。自分の意志を大事にし、
名前が残るような仕事をしたい

※N＝166、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	楽しさ	[49.0%]
2位	自分らしさ	[47.1%]
3位	夢	[43.4%]
4位	やりがい	[41.0%]
5位	自由な	[39.0%]
6位	居心地の良さ	[37.6%]

キャリア観

自分の名前が残るような
仕事がしたい

「自分の名前が残るような仕事がしたい(+16.6)」「自分の趣味や自由な時間も大事にしながら働きたい(+9.1)」「親しい仲間と何かを作り上げていくような仕事をしたい(+8.5)」「自分が成長できる仕事がしたい(+7.3)」が全体より高く、「派遣社員や契約社員ではなく、正社員で働きたい(－13.7)」が低い。自分の個性を生かしてインパクトのある仕事をしたい。

ライフデザイン

目指しているロールモデルに
向かって夢を実現したい

「将来こうなりたいと目指している人がある(+14.9)」「自分の夢を見つけて実現していくのが良い生き方だと思う(+13.1)」「これからの人生で取り組んでみたいことがいくつかある(+12.6)」「将来就きたい仕事がある(+8.2)」が全体より高く、「あまり高望みせずそこそ楽しい生活を送りたい(－6.6)」が低い。ロールモデルや具体的な夢に向かって一直線。

進学観

将来の仕事に役立つ
実践的スキルを身に着けたい

「進学先では仕事に役立つ知識・技術を身につけたい(+6.4)」「進学先では勉強以外のことを幅広く学びたい(+5.6)」「自分のやりたい事や夢があれば学歴は関係ない(+3.2)」が全体より高く、「将来の事は進学してから考えたい(－7.4)」が低い。実践的な知識や技術を身に着けながらも、それ以外のことも幅広く学びたいという意向。

価値観

自分の個性や意志を重視。
人に流されない

「自分をアピールすることはとても大事だ(+7.3)」「先のことを考えるより今を充実させたい(+5.5)」が全体より高く、「自分で調べたりするより信頼できる人におすすめされたい(－11.1)」「自分の意志よりも、流行や周囲の意見に左右されやすい方だ(－8.0)」「自分一人が前に出るより、仲間との協調性を重視したい(－6.5)」が低い。自分の意志を重視。

受けたい授業スタイル

業界や分野で有名な先生、
企業とのコラボ授業

「分野や業界で有名な先生に学べる(+8.3)」「地域や企業とコラボレーションして学べる(+6.4)」「先生と生徒の距離が近い(+6.3)」「授業や実習が多少厳しくてもかまわない(+5.6)」が全体より高い。職業に直結するスキルを熟知する先生と近い距離で学び、実際の企業でも学びながら、より実地に近い環境で実力を磨きたいと考えている。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

▲上がった経験 学ぶ内容のレベルの高さ

「芸工展という生徒の作品が展示されている会場があって、クオリティがすごかったこと」「オープンキャンパスの体験授業で内容が充実していた」「やりたいことが実際にできるとわかった」など、学べる内容が自分の希望する方向性と合致していて、そのレベルが高いことに惹かれる傾向。

▼下がった経験 先生の印象や学費の高さ

「体験授業でお話なさっていた先生にあまり良い印象を持たなかった」「頭のよさそうな在校生がいなかった」「学費の高さ」「オープンキャンパスに行ったら意外に敷地が狭くて遠かった」など、実際に学ぶ先生の態度から、理系ならではの学費という観点、施設という観点まで幅広い。

タイプ別構成比

1位	プロ突進タイプ	[35.8%]
2位	自分探しタイプ	[22.0%]
3位	ブランド重視タイプ	[10.4%]
4位	学者タイプ	[9.4%]
5位	好きエンジョイタイプ	[8.2%]
6位	未成熟タイプ	[7.8%]

全体と比較して「プロ突進」(+10.6)が多い。「プロ突進」が持つ将来イメージは「自分の興味のある建築を学びながら資格を取り、東南アジアなどでも働いてみたい」など専門職をイメージ。一方「自分探し」は「実際に模型などを作ってみて将来はいろいろな方面に就職する可能性がありそう」など、まだ可能性を探ってみたいという意向。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

▲上がった経験 目標や夢に向かって頑張る在校生の姿

「その学校を卒業して歌手になった先輩に会えた」「誰もが目標や夢を持っている」「夢を追って努力している人が多くて良いなと思った」など、夢や志への共感から、「きちんと業界の第一線で活躍している人に教えてもらえること」「実践的な授業が多い」など、将来へつながる授業内容を重視する傾向。

▼下がった経験 先生の印象や学費の高さ

「資料に書いてあったプロの方が教えてくれるというのが年一回だった」「お互いがライバルな感じで殺伐とした雰囲気があった」「どのパンフにも掲載されている作品が同じで、他校に比べ実績の表記がない」「文化祭が自己満足の域で終わっている」など、在校生の雰囲気や作品のレベルにも注目している。

タイプ別構成比

1位	プロ突進タイプ	[27.4%]
2位	好きエンジョイタイプ	[16.5%]
3位	自分探しタイプ	[14.5%]
4位	学者タイプ	[12.2%]
5位	おっとりタイプ	[11.2%]
6位	ブランド重視タイプ	[8.8%]

全体と比較して「プロ突進タイプ」(+2.2)「好きエンジョイタイプ」(+9.1)が多い。「プロ突進」が持つ将来イメージは「不安定な職だとは思いますが、自分の夢を叶えられるから楽しそう」。一方「好きエンジョイ」は「安定してるかは分からないけど、そこそこのお給料だし、何より本当に楽しそうな職業」と好きなことを追求したいという声が。

10 アート・デザイン・イラスト



自分の個性を生かし、
独立も視野に入れながらマイペースで働きたい

※N＝110、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	楽しさ	[45.9%]
2位	自分らしさ	[42.6%]
3位	やりがい	[41.7%]
4位	自由	[40.6%]
5位	個性的な	[40.0%]
6位	個性	[39.8%]

キャリア観

個人でできる仕事で、
独立も視野に入れる

「あまり人と関わらずに働ける仕事がしたい(+19.2)」「自分の名前が残るような仕事がしたい(+13.0)」「起業(独立)したい(+11.2)」「自分の趣味や自由な時間も大事にしながら働きたい(+6.2)」が全体より高く、「将来はなるべく大企業や有名な企業に入りたい(-12.1)」が低い。チームワークで働くというよりは、個人の自由も大切にしながら働きたい。

ライフデザイン

就きたい職業や
ロールモデルが明確

「これからの人生で取り組んでみたいことがいくつもある(+9.7)」「将来就きたい仕事がある(+9.0)」「将来こうなりたいと目指している人がある(+6.9)」が全体より高く、「将来はお金持ちになりたい(-8.4)」「将来は会社の中でえらくなりたい(-8.1)」が低い。就きたい仕事やロールモデルが明確で、社会的なステイタスにはあまり興味がない。

進学観

偏差値や資格よりも、
じっくりと勉強したい

「進学したらみっちり勉強・研究したい(+3.5)」「自分のやりたい事や夢があれば学歴は関係ない(+2.4)」が全体より高く、「大学に進学するなら偏差値の高い大学に行ったほうが良い(-16.4)」「進学先では資格を取りたい(-10.1)」が低い。偏差値や資格といった社会的な安定・保証ではなく、自分のやりたいことや夢に没頭したいという考え。

価値観

自分の意志を大事にし、
努力をいとわない

「自分をアピールすることはとても大事だ(+5.9)」「今、自分には頑張っていることがある(+4.9)」「得られる成果がはつきりしていれば途中の努力はいとわない(+4.4)」が全体より高く、「自分で調べたりするより信頼できる人におすすめされたい(-19.4)」「自分の意志よりも、流行や周囲の意見に左右されやすい方だ(-12.3)」が低い。

受けたい授業スタイル

厳しい授業でも頑張れる

「授業や実習が多少厳しくてもかまわない(+2.1)」「受ける授業を、興味に合わせて自由に選べる(+1.7)」「分野や業界で有名な先生に学べる(+0.7)」が全体より高く、「あらかじめ受ける授業が決められている(-9.4)」が低い。進学後はしっかり学びたいという意欲があるため、将来につながるのであれば厳しい授業も頑張れる。

タイプ別構成比

1位	プロ突進タイプ	[25.1%]
2位	自分探しタイプ	[20.2%]
3位	未成熟タイプ	[14.6%]
4位	好きエンジョイタイプ	[12.3%]
5位	おっとりタイプ	[11.7%]
6位	学者タイプ	[10.9%]

全体と比較して「未成熟タイプ」(+2.4)「好きエンジョイタイプ」(+4.9)が多い。「プロ突進」が持つ将来イメージは「センスが問われそう」「才能次第で世界は広がりそう」と、自分次第で可能性が広がると考えている。一方「自分探し」は「収入が不安定でこの分野だけでは食べていけなさそう」など「収入が低そう」など将来の見通しに不安も。

11 美容・メイク・ファッション



「夢」「好き」を仕事に。
少人数制でアットホームに楽しく学びたい

※N＝92、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	おしゃれな	[43.2%]
2位	やりがい	[42.6%]
3位	楽しさ	[42.2%]
4位	自分らしさ	[41.8%]
5位	明るい	[40.2%]
6位	自由な	[37.9%]

キャリア観

プライベートを大事に、
成長できる仕事に就きたい

「自分の趣味や自由な時間も大事にしながら働きたい(+13.9)」「他人に自慢できる・尊敬される仕事がしたい(+9.6)」「自分が成長できる仕事がしたい(+9.4)」が全体より高く、「派遣社員や契約社員ではなく、正社員で働きたい(-12.3)」が低い。雇用形態にはとらわれず、仕事をマイペースで続けながらも、成長できる仕事がしたいという考え。

ライフデザイン

夢を見つけて実現したいが
具体的なイメージは不明確

「自分の夢を見つけて実現していくのが良い生き方だと思う(+10.8)」「これからの人生で何を目標とすべきかわからない(+7.6)」「これから先の人生のことはほとんど予想ができない(+6.8)」が全体より高く、「頑張ってお金を稼ぐより、平凡でも安定した生活を送りたい(-8.4)」「いい大学やいい会社に入れば将来は安泰だと思う(-8.3)」が低い。

進学観

仕事に役立つ資格を
取得しつつも学生生活を楽しむ

「進学先では資格を取りたい(+6.5)」「進学先では学生生活を楽しまたい(+4.6)」「進学先では仕事に役立つ知識・技術を身につけたい(+4.6)」が全体より高く、「大学に進学するなら偏差値の高い大学に行ったほうが良い(-7.1)」が低い。将来につながる技術を身につけ、しっかり資格を取りながらも、キャンパスライフも楽しみたい。

価値観

失敗を恐れず、
今しかやれないことに挑戦

「失敗をおそれず、とりあえずやってみることが大事だ(+8.7)」「新しいことにチャレンジしたいと思う(+7.1)」「今しかやれないことに全力を尽くすべきだ(+6.5)」が全体より高く、「自分で考えてやるよりも人の指示等に沿ってやる方が良い(-8.4)」「今が楽しければそれが一番だと思う(-7.6)」が低い。新しいことへの挑戦意欲が高い。

受けたい授業スタイル

少人数制で、
受ける授業が自由に選べる

「授業が少人数で行われる(+5.8)」「先生と生徒の距離が近い(+3.5)」「海外研修や留学できる機会がある(+3.2)」「受ける授業を、興味に合わせて自由に選べる(+3.1)」が全体より高く、「座学が多い(-6.7)」「あらかじめ受ける授業が決められている(-4.6)」が低い。先生との距離が近い少人数制で、自分の興味に合わせた授業を受けたいと考えている。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

▲上がった経験 夢への共感、先生と生徒の仲のよさ

「“夢”というキーワードが好きなので、共感できる言葉などが書いてあると、好感度があがる」「在校生が輝いている」「先生と生徒が楽しそうに喋ってる」「生徒がみんな楽しそうだったし、先生とも仲が良さそうだった」「実習の時に学校外の講師から実習をうけることができる」など、在校生や先生の姿勢を重視。

▼下がった経験 雰囲気への堅苦しさ

「全体的な雰囲気が堅苦しかった」「ぎすぎすして厳しい感じ」「先生と生徒があまり会話をしていなさそうだった」「パンフレットにのっている校舎の写真と実際の校舎の違いがすごいギャップだった」「作品を展示する文化祭が期待と違ってあまりよくなかった」など、コミュニケーションに対する観点が多い。

タイプ別構成比

1位	プロ突進タイプ	[29.1%]
2位	好きエンジョイタイプ	[14.9%]
3位	自分探しタイプ	[14.8%]
4位	おっとりタイプ	[14.2%]
5位	学者タイプ	[11.5%]
6位	未成熟タイプ	[8.2%]

全体と比較して「プロ突進タイプ」(+3.9)「好きエンジョイタイプ」(+7.5)が多い。「プロ突進」が持つ将来イメージは「美容師やらネイリスト、エステティシャンといった専門職に就く」「自分のお店を持ちたい」、一方「好きエンジョイ」は「自分の好きなメイクができるので楽しそう」「ネイルをすることが楽しそう」など、「楽しい」ことに比重が置かれる傾向。

12 医療・薬・リハビリ



資格を取り、努力して社会や周囲の人に
貢献できる生き方をしたい

※N＝210、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	資格	[36.4%]
2位	安定	[34.4%]
3位	やりがい	[30.3%]
4位	手に職	[30.1%]
5位	社会で役立つ	[29.6%]
6位	居心地の良さ	[28.8%]

キャリア観

安定しており、社会貢献できる
ような仕事に就きたい

「社会貢献ができる仕事がしたい(+15.9)」
「身近な人の役にたつ仕事がしたい(+13.8)」
「資格が活かせる仕事がしたい(+13.2)」
「収入や雇用が安定している仕事がしたい(+12.2)」が全体より高く、「自分の名前が残るような仕事がしたい(-8.3)」が低い。自分をアピールするのではなく、社会や身近な人のために役に立てるような仕事に就きたいという考え。

ライフデザイン

目指す仕事が明確。
人の役に立つ生き方をしたい

「将来就きたい仕事がある(+13.7)」
「自分が望む生き方をするために、具体的な計画を立てている(+9.4)」
「誰かの役に立てる生き方をしたい(+8.7)」
「今後どんな人生を送っていききたいのか目標をもっている(+7.9)」が全体より高く、「将来は会社の中でえらくなりたい(-4.6)」
「将来こうなりたいと目指している人がある(-3.9)」が低い。

進学観

しっかり勉強して将来に
つながる資格を取得したい

「進学先では資格を取りたい(+10.0)」
「何を学ぶかは大事だが、どの学校で学ぶかは関係ない(+7.3)」
「学力的に頑張らなくてはいけない学校でも、挑戦したい(+7.2)」
「進学したらみっちり勉強・研究したい(+6.2)」が全体より高く、「将来の事は進学してから考えたい(-6.1)」
「進学先では勉強以外のことを幅広く学びたい(-2.6)」が低い。

価値観

目指す仕事に就くための
努力はいとわない

「得られる成果がはっきりしていれば途中の努力はいとわない(+5.9)」
「頑張ればいつか報われると思う(+5.1)」
「自分一人が前に出るより、仲間との協調性を重視したい(+5.0)」が全体より高く、「先のことを考えるより今を充実させたい(-2.0)」が低い。目指す仕事に就くためであれば、多少厳しい環境でも頑張ろうという意欲を持っている。

受けたい授業スタイル

補習やフォローの充実と
海外研修・留学

「補習やフォローがしっかりしている(+7.5)」
「海外研修や留学できる機会がある(+6.9)」
「グローバル化や国際社会・異文化について学べる(+6.3)」
「企業でインターンシップができる制度がある(+5.7)」が全体より高く、「受ける授業を、興味に合わせて自由に選べる(-0.5)」が低い。資格取得のためのサポート制度を重視する傾向。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

⬆️上がった経験 最先端の設備や研究、補講の充実度

「実験の施設や設備が最先端だった」「就職や資格取得のサポート制度が充実していた最後の一人まで面倒を見ると言われた」「補講などがしっかりしている」「資格がたくさん取れる」「卒業後の生徒の就職状況が丁寧に説明された」など、卒業後の進路について、目指す仕事に就くために学ぶハード面での環境や、授業の補講など。

⬇️下がった経験 オープンキャンパスに来ている高校生の雰囲気

「オープンキャンパスに来ていた高校生のレベルが低く一緒に学ぶことは難しいと感じたこと」「体験に来ていた高校生のレベル」など、来校している高校生にも注目していることが特徴。「体験授業があまり自分の興味の持てない内容だった」「ずっと座って人の話を聞いているだけの模擬授業だったので興味が持てなかった」など。

13 福祉・スポーツ



資格を取得し、人の役に立てて
一生続けられる仕事に就きたい

※N＝107、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	やりがい	[36.5%]
2位	資格	[35.7%]
3位	居心地の良さ	[33.5%]
4位	安定	[32.1%]
5位	自分らしさ	[27.8%]
6位	仲が良い	[27.2%]

キャリア観

社会や周囲の人の役に立ち、
復職しやすい仕事

「社会貢献ができる仕事がしたい(+12.8)」
「身近な人の役にたつ仕事がしたい(+11.1)」
「一度やめても、復職できるような仕事がしたい(+9.0)」
「資格が活かせる仕事がしたい(+7.8)」が全体より高く、「自分の趣味や好きなことができる仕事につきたい(-7.7)」
「自分がやりたくない・自分に合わない仕事はしたくない(-7.1)」が低い。

ライフデザイン

あまり高望みはせず、
将来イメージは曖昧

「あまり高望みせずそこそ楽しい生活を送りたい(+8.5)」
「人生設計はあるけれど実現するための努力は特にしていない(+7.3)」
「国や会社に頼らず、自分で力をつけていくことが大事だ(+4.1)」が全体より高く、「これからの人生について自分なりの見通しを持っている(-5.3)」
「自分の夢を見つけて実現していくのが良い生き方だと思う(-4.5)」が低い。

進学観

学歴や学校イメージではなく、
学ぶ内容を重視

「自分のやりたい事や夢があれば学歴は関係ない(+10.3)」
「進学先では資格を取りたい(+9.8)」
「何を学ぶかは大事だが、どの学校で学ぶかは関係ない(+7.4)」が全体より高く、「進学先では自分の可能性を広げたい(-8.7)」
「進学したらみっちり勉強・研究したい(-6.2)」が低い。学歴や学校自体のイメージより、資格取得のために学ぶ内容のほうが重要だと考えている。

価値観

あれこれ悩むより
とりあえずやってみる

「失敗をおそれず、とりあえずやってみることが大事だ(+7.6)」
「頑張ればいつか報われると思う(+6.1)」
「自分で調べたりするより信頼できる人におすすめされたい(+5.5)」が全体より高く、「何かを決めるときは検討を慎重にして失敗を避けたい(-7.0)」
「今が楽しければそれが一番だと思う(-5.0)」が低い。慎重な意思決定よりもとりあえずやってみるという意向。

受けたい授業スタイル

資格取得に必要な授業が
あらかじめ決められている

「あらかじめ受ける授業が決められている(+11.3)」
「グローバル化や国際社会・異文化について学べる(+4.9)」
「実習、グループ学習やディスカッションなどの参加型授業がある(+4.4)」が全体より高く、「受ける授業を、興味に合わせて自由に選べる(-6.9)」
「分野や業界で有名な先生に学べる(-3.7)」
「先生と生徒の距離が近い(-2.5)」が低い。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

⬆️上がった経験 就職や資格取得への安心感

「就職率がよいこと」「先輩たちが実際に業界で活躍していること」「資格取得のためのサポート制度がとても充実していた」「自分に合った方法で学べそう」など就職や資格取得への安心感や、「介護の学校の写真の女の子の笑顔が優しそうで素敵だった」「活気があり先輩たちが楽しそうだった」など在校生の明るい雰囲気。

⬇️下がった経験 先生や在校生の雰囲気や学ぶ内容の難しさ

「介護の学校なのに先生や在校生の言葉遣いが気になった」「先輩たちの雰囲気が自分に合わないと感じた」という先生や在校生の雰囲気や、「授業が難しそうだったこと」「授業が厳しいと何度も言われて自信がなくなった」「授業についていけるか不安になった」など、学ぶ内容の難易度に対する不安感。

タイプ別構成比

1位	プロ突進タイプ	[23.2%]
2位	自分探しタイプ	[21.2%]
3位	未成熟タイプ	[17.4%]
4位	ブランド重視タイプ	[11.6%]
5位	おっとりタイプ	[11.1%]
6位	学者タイプ	[10.8%]

全体と比較して「未成熟タイプ」(+5.2)が多い。「プロ突進」が持つ将来イメージは「メーカースタッフになってスポーツビジネスにかかわりたい」「介護は今後高齢者が増えるので必ず需要がある」、一方「自分探し」は「好きなスポーツをやりたいが実習が厳しそうで、仕事にするのは難しそう」「介護は社会に貢献できそうだけど具体的な職については未定」など。

14 IT・コンピュータ・ゲーム



社会で通用する技術を身につけ、
成功や安定を手に入れたい

※N＝324、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	技術	[33.2%]
2位	自由な	[31.9%]
3位	やりがい	[30.6%]
4位	楽しさ	[29.5%]
5位	資格	[29.3%]
5位	就職	[29.3%]

キャリア観

大企業の正社員。
人とあまりかかわらない仕事

「将来はなるべく大企業や有名な企業に入りたい(+13.0)」「会社員として働きたい(+10.6)」「派遣社員や契約社員ではなく、正社員で働きたい(+6.7)」「あまり人と関わらずに働ける仕事がしたい(+5.7)」が全体より高く、「社会貢献ができる仕事がしたい(-6.3)」「家族との時間も大事にしながら働きたい(-5.3)」が低い。社会貢献よりも安定している大企業に入りたい。

ライフデザイン

地位や成功への意欲が高いが、
将来イメージは曖昧

「将来は会社の中でえらくなりたい(+9.7)」「いい大学やいい会社に入れば将来は安泰だと思う(+9.3)」「将来は何か大きな成功を手にしたいと思う(+6.1)」が全体より高く、「将来就きたい仕事がある(-7.4)」「これからの人生について自分なりの見通しを持っている(-5.3)」が低い。ステイタスのある組織に入り、安定や成功を手に入れたいという考え。

進学観

将来のことは進学後。
知識や技術を身につけたい

「将来の事は進学してから考えたい(+7.4)」「進学先では仕事に役立つ知識・技術を身につけたい(+5.3)」「大学に進学するなら偏差値の高い大学に行ったほうが良い(+4.6)」「進学する学校は地元の学校がよい(+4.1)」が全体より高い。具体的に就きたい仕事などは曖昧だが、将来に役立つ技術を身につけ、大学のステイタスも気にする。

価値観

無駄やリスクを避ける
意思決定方法

「何かを決めるときは検討を慎重にして失敗を避けたい(+3.8)」「自分の意志よりも、流行や周囲の意見に左右されやすい方だ(+3.2)」「物事を進めるときは無駄を省いて効率よく進めたい(+2.5)」が全体より高い。意思決定の際の無駄やリスクを避けたいという意向が高いため、自分の意志ではなく周囲の意見も取り入れる傾向がある。

受けたい授業スタイル

座学中心で授業を自由に選べる。
海外には興味なし

「座学が多い(+3.8)」「受ける授業を、興味に合わせて自由に選べる(+1.8)」「分野や業界で有名な先生に学べる(+1.5)」が全体より高く、「海外研修や留学できる機会がある(-8.8)」「あらかじめ受ける授業が決められている(-5.5)」「グローバル化や国際社会・異文化について学べる(-4.3)」が低い。基本的には座学中心の授業。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

⬆上がった経験 パソコンなど設備の充実度と就職率・就職先

「パソコンの台数もたくさんあり、最新の設備がいつでも使えるという環境」「最先端の実験機材が用意されてて、研究活動がとてもしやすそうな印象を受けた」という設備の充実度や、「就職率100%」「就職先が自分が知っているような有名企業だった」「希望者は全員就職している」など、就職についての情報を重視。

⬇下がった経験 学ぶ内容や施設・設備が最新ではない

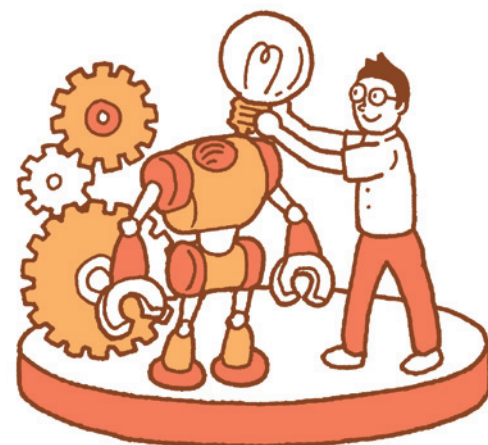
「授業の内容がすでに自分が知っているような古い内容で、最新ではないことが残念だった」「設備が古そうで、自由に使えなさそうだった」「質問に答えにくれず、入るなら教える的なスタンスだった」「オープンキャンパスで学生に質問をする機会があったが、そのときの学生の反応があまりよくなかった。」など。

タイプ別構成比

1位	プロ突進タイプ	[30.6%]
2位	自分探しタイプ	[18.9%]
3位	ブランド重視タイプ	[16.7%]
4位	学者タイプ	[11.8%]
5位	未成熟タイプ	[7.9%]
6位	おっとりタイプ	[7.8%]

全体と比較して「プロ突進タイプ」(+5.4)「ブランド重視タイプ」(+5.2)が多い。「プロ突進」が持つ将来イメージは、「プログラミングなどの技術を磨き、センスを生かして高収入を得たい」「インターネットを通じてグローバルに活躍できる仕事がしたい」、一方「自分探し」は「得意なインターネット方面の知識を得れば就職先はたくさんありそう」など。

15 機械・電子・電気



社会や企業と連携したアクティブな学びを重視。
大企業・有名企業志向

※N＝234、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	技術	[39.2%]
2位	やりがい	[32.7%]
3位	楽しさ	[31.9%]
4位	安定	[29.9%]
5位	先進的な	[29.6%]
6位	自由な	[28.3%]

キャリア観

大企業の正社員。趣味や
好きなことを仕事にしたい

「将来はなるべく大企業や有名な企業に入りたい(+18.6)」「会社員として働きたい(+10.5)」「自分の趣味や好きなことができる仕事につきたい(+7.0)」「自分がリーダーになって人を統率できる仕事がしたい(+6.5)」が全体より高く、「家族との時間も大事にしながら働きたい(-5.2)」「自分がやりたくない・自分に合わない仕事はしたくない(-3.2)」が低い。

ライフデザイン

将来の仕事イメージや
ロールモデルは曖昧

「将来は会社の中でえらくなりたい(+11.3)」「いい大学やいい会社に入れば将来は安泰だと思う(+8.3)」「将来は何か大きな成功を手にしたいと思う(+5.6)」が全体より高く、「将来就きたい仕事がある(-8.1)」「誰かの役に立てる生き方をしたい(-6.0)」「将来こうなりたいと目指している人がある(-4.1)」が低い。将来の仕事イメージは曖昧。

進学観

学力的に努力し、仕事に役立つ
技術を身につけたい

「学力的に頑張らなくてはいけない学校でも、挑戦したい(+10.0)」「将来の事は進学してから考えたい(+9.9)」「進学先では仕事に役立つ知識・技術を身につけたい(+8.0)」「大学に進学するなら偏差値の高い大学に行ったほうが良い(+7.9)」が全体より高く、「少し頑張れば入れそうな学校でよい(-4.7)」が低い。偏差値も重要だと考えている。

価値観

刹那的思考ではなく、
将来に向かって着実に努力

「今、自分には頑張っていることがある(+7.1)」「何かを決めるときは検討を慎重にして失敗を避けたい(+6.2)」が全体より高く、「自分をアピールすることはとても大事だ(-3.6)」「今が楽しければそれが一番だと思う(-3.3)」「先のことを考えるより今を充実させたい(-2.5)」が低い。意思決定は慎重で、将来を考えながら今も頑張りたいと考えている。

受けたい授業スタイル

地域や企業などと学外との
コラボレーション授業

「地域や企業とコラボレーションして学べる(+8.0)」「フィールドワークやプロジェクト型学習など学外で学ぶ機会がある(+7.5)」「分野や業界で有名な先生に学べる(+5.9)」「実習、グループ学習やディスカッションなどの参加型授業がある(+5.4)」が全体より高い。社会と関わり学ぶことで、将来に役立つ実践的な技術を身につけたいと考えている。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

⬆上がった経験 企業との連携や、最先端の施設・研究設備

「企業とつながった講座がある」「学校内の工場巡りをしてくれ、実践的な環境に驚いた」「オープンキャンパスで最先端の技術を学べていいなと思った」「研究設備が充実しており、授業も興味のあるものだった」など、最新の技術を学べそうな環境と、学内外で将来につながる実践的な内容が学べること。

⬇下がった経験 学ぶ内容や施設・設備が最新ではない

「設備が古そうだった」「眠くなる説明があった」など、設備や学ぶ内容について期待と違ったという声や、「かなり駅から遠く、バスの便も少なく不便」「理系だけ校舎が離れていた」「パンフレットには良いことばかり書いて実際のオープンキャンパスで違いを感じるが多かった」など。

タイプ別構成比

1位	プロ突進タイプ	[27.7%]
2位	自分探しタイプ	[24.8%]
3位	ブランド重視タイプ	[15.9%]
4位	学者タイプ	[12.1%]
5位	未成熟タイプ	[7.3%]
6位	おっとりタイプ	[6.7%]

全体と比較して「自分探しタイプ」(+3.3)「ブランド重視タイプ」(+4.4)が多い。「プロ突進」が持つ将来イメージは、「車の仕組みを学び車関係の仕事に就きたい」「機械の設計などを学び、企業の開発チームに入りたい」、一方「自分探し」は「電気回路や電子工作の実習が有り、ものづくりに携われそう」「手に職がつけられるから安定しそう」など。

16 動植物・地球・環境



実践的な特徴のある授業で、
しっかり勉強。社会に役立つ仕事がしたい

※N＝153、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	安定	[35.3%]
2位	居心地の良さ	[30.5%]
3位	楽しさ	[29.9%]
4位	自由な	[28.9%]
5位	専門性	[28.1%]
6位	自由	[27.9%]

キャリア観

あまり頑張りすぎず、
社会貢献できる仕事がしたい

「社会貢献ができる仕事がしたい(+8.0)」「プレッシャーや責任がなく、楽に働ける仕事がしたい(+6.2)」「将来はなるべく大企業や有名な企業に入りたい(+5.6)」「自分の趣味や好きなことができる仕事につきたい(+4.9)」が全体より高く、「他人に自慢できる・尊敬される仕事がしたい(-8.6)」「国際的に活躍できる仕事がしたい(-3.0)」が低い。

ライフデザイン

夢を追うのではなく堅実に
生きていく力を身につけたい

「国や会社に頼らず、自分で力をつけていくことが大事だ(+1.8)」が全体より高く、「将来こうなりたいと目指している人がある(-11.6)」「自分の夢を見つけて実現していくのが良い生き方だと思う(-8.5)」「自分が期待しているような人生をこの先実現できそうである(-7.1)」が低い。夢やロールモデルを追うのではなく、この先自立していける力を身につけたい。

進学観

進学先ではしっかり勉強し、
知識技術を身につけたい

「進学したらみっちり勉強・研究したい(+11.4)」「進学先では仕事に役立つ知識・技術を身につけたい(+8.1)」「進学先では自分の得意分野を作りたい(+6.5)」「学力的に頑張らなくてはならない学校でも、挑戦したい(+5.3)」が全体より高く、「少し頑張れば入れそうな学校でよい(-7.5)」「全く努力しなくても入れそうな学校に入りたい(-4.7)」が低い。

価値観

意思決定は
他人に左右されやすい

「自分の意志よりも、流行や周囲の意見に左右されやすい方だ(+8.7)」「自分で考えてやるよりも人の指示等に沿ってやる方が良い(+7.0)」「物事を進めるときは無駄を省いて効率よく進めたい(+4.3)」が全体より高く、「前例やルールがなくても自分で判断して行動することが得意(-4.3)」「他人と競争するのは嫌いだ(-2.5)」が低い。

受けたい授業スタイル

グループやディスカッションなど
参加型授業

「実習、グループ学習やディスカッションなどの参加型授業がある(+6.5)」「企業でインターンシップができる制度がある(+5.9)」「授業や実習が多少厳しくてもかまわない(+5.7)」「フィールドワークやプロジェクト型学習など学外で学ぶ機会がある(+5.6)」が全体より高く、「授業が少人数で行われる(-3.6)」が低い。座学よりも参加型授業。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

⬆️上がった経験 その学校ならではの個性的な授業・学ぶ内容

「積極的に実験をやらせてくれた」「個性的な授業が多くて業界とのつながりも太く、就職率が高いと聞いていいなと思った」「他の学校にはない授業方法に惹かれた」「ほかの学校と違い、様々な作物を育てられる」「先生たちも優しくてなおかつその専門をこよなく愛していたこと」など、学ぶ内容の特徴性。

⬇️下がった経験 参加型授業の少なさ、就職の難しさ

「座学が多いと聞いて、行きたい気持ちが薄れてしまった」「オープンキャンパスでは見学ばかりで、一番受けたかった模擬授業を体験できなかった」など、参加型授業を重視する高校生ならではの視点や、「就職が難しいという話を聞いた」「卒業後の受け入れ先が少ない」など卒業後に関して。

タイプ別構成比

1位	自分探しタイプ	[27.4%]
2位	プロ突進タイプ	[22.9%]
3位	学者タイプ	[13.9%]
4位	おっとりタイプ	[13.3%]
5位	ブランド重視タイプ	[8.3%]
6位	未成熟タイプ	[6.8%]

全体と比較して「自分探しタイプ」(+5.9)「学者タイプ」(+2.7)が多い。「自分探し」が持つ将来イメージは、「動植物についての実験が多く、知識が得られそうだけど就職が難しい分野」、一方「プロ突進」は「動物やバイオについて学び、動物園、食品産業、ペット関係、酪農の分野で就職したい」「病院などで実習してトリマーになる」など。

17 数学・物理・化学



社会や企業と連携した先進的な研究を重視。
大企業・有名企業志向

※N＝137、カッコ内の数値は全体値との差

響くキーワード

1位	楽しさ	[31.5%]
2位	安定	[30.9%]
2位	先進的な	[30.9%]
2位	研究	[30.9%]
5位	未来	[29.6%]
6位	レベルが高い	[28.5%]

キャリア観

大企業や有名企業に入り、
収入や雇用を安定させたい

「将来はなるべく大企業や有名な企業に入りたい(+5.6)」「収入や雇用が安定している仕事がしたい(+4.2)」「親しい仲間と何かを作り上げていくような仕事をしたい(+5.3)」が全体より高く、「他人に自慢できる・尊敬される仕事がしたい(-8.7)」「一度やめても、復職できるような仕事がしたい(-7.6)」が低い。安定志向が強い。

ライフデザイン

いい大学や会社に入り
安定を手に入れたい

「いい大学やいい会社に入れば将来は安泰だと思う(+8.7)」「希望する人生や生き方が送れるように努力している(+3.9)」「国や会社に頼らず、自分で力をつけていくことが大事だ(+3.1)」が全体より高く、「将来就きたい仕事がある(-21.1)」「将来こうなりたいと目指している人がある(-10.3)」が低い。具体的な仕事よりも、まずステイタスを追う傾向。

進学観

努力して、
偏差値の高い大学へ。

「大学に進学するなら偏差値の高い大学に行ったほうが良い(+11.2)」「学力的に頑張らなくてはいけない学校でも、挑戦したい(+11.1)」「将来の事は進学してから考えたい(+9.5)」「進学したらみっちり勉強・研究したい(+5.2)」が全体より高く、「少し頑張れば入れそうな学校でよい(-15.2)」「全く努力しなくても入れそうな学校に入りたい(-6.8)」が低い。

価値観

「今」だけではなく、
「未来」も重視する傾向

「自分は人から必要とされている(+2.8)」「新しいことにチャレンジしたいと思う(+2.0)」「今の自分が好きだ(+1.5)」が全体より高く、「今しかやれないことに全力を尽くすべきだ(-11.2)」「今が楽しければそれが一番だと思う(-9.3)」が低い。自己肯定感や挑戦意欲は比較的高く、刹那的ではなく長期的に物事を考える傾向がある。

受けたい授業スタイル

分野で有名な先生から、
少人数制で学びたい

「授業や実習が多少厳しくてもかまわない(+8.4)」「分野や業界で有名な先生に学べる(+6.9)」「授業が少人数で行われる(+4.2)」「座学が多い(+2.2)」が全体より高く、「あらかじめ受ける授業が決められている(-7.4)」「海外研修や留学できる機会がある(-2.2)」が低い。その分野で有名な先生から直接学べる機会があることを重視。

こんな時に学校の好感度が上がる、下がる

⬆️上がった経験 未来につながる最先端の研究内容

「最先端の研究を行っていたこと」「未来につながる先進的なことが学べると聞いた」「パンフレットを見て、就職状況がよかったこと」「ホームページをみて就職に強いと感じた」「オープンキャンパスの授業の体験が面白かったのと、補助の生徒さんが明るくて楽しい時間が過ごせた」など、先進的な研究や就職状況について。

⬇️下がった経験 留年率の高さや、在校生の雰囲気

「就職には強いが、留年率が3割であることを知った」「在校生があまりまじめに勉強していなさそうなことを話していた。自分は勉強したいと思っているので少しがっかりした」「オープンキャンパスで職員の人々の態度が冷たかった」「就職先の企業を明らかに大げさに言いすぎていると感じた」など。

タイプ別構成比

1位	自分探しタイプ	[22.2%]
2位	学者タイプ	[16.3%]
2位	ブランド重視タイプ	[16.3%]
4位	プロ突進タイプ	[15.9%]
5位	未成熟タイプ	[13.7%]
6位	おっとりタイプ	[8.6%]

全体と比較して「学者タイプ」(+5.1)「ブランド重視タイプ」(+4.8)が多い。「自分探し」が持つ将来イメージは、「哲学的な話が多そうで、大学院までいかなければ就職は困難」「一般企業に就職できる」、一方「学者」は「実験をたくさんして経験を積み、研究者になりたい」「高校よりも複雑化した内容について学べるのが楽しみ」など。

高校生価値意識調査2014 調査概要

■調査目的	高校生の将来イメージおよび進路選択に対する価値意識を把握する。
■調査期間	2014年4月4日(金)～4月8日(火)
■調査方法	インターネット調査
■調査対象	2014年3月時点の高校1～3年生のうち、進学希望者 株式会社マクロミルのモニター会員のうち、2014年3月時点の高校生を対象にスクリーニング調査を実施し、下記の①もしくは②に該当した者、を調査対象とした。 ①2014年4月現在、高校2年生、3年生で大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討している男女。 ②2014年4月現在、高校既卒者で、高校時代に大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討したことがある男女。 ※対象数は条件に該当した者から、平成25年度学校基本調査(確定版)の「全日制・本科生徒数(県別)」を基に、関東／関西／東海／その他エリアの4つのブロック別に、回収数が実際の生徒数の比となるように設定した。
■集計対象数	1,438人 ※関東エリア、東海エリア、関西エリア、その他エリアそれぞれにおいて、平成25年度学校基本調査(確定版)から、当該年度の学生数の男女構成比を算出し、エリア毎の男女構成比を補正している。

高校生価値意識調査2014 報告書

●発行	2014年9月
●発行元	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ リクルート進学総研 東京都千代田区丸の内1-9-2 http://souken.shingakunet.com/
●調査実施・分析	株式会社アンド・ディ